

おだか 7/1号

センターだより



発行日 令和 7年 7月 1日
発 行 小高生涯学習センター
「浮舟文化会館」
住 所 南相馬市小高区本町
2丁目89番地の1
電 話 0244-44-3049
FAX 0244-44-1266

埴谷・島尾記念文学資料館（浮舟文化会館内） スポット企画展のお知らせ

埴谷・島尾記念文学資料館では、令和7年度の企画展として「社会運動家 すぎやまもとじろう 杉山元治郎 一生誕140周年を迎えてー」を開催します。

開催期間 令和7年7月29日（火）～8月31日（日）
開館時間 午前9時～午後5時
休 館 日 毎週月曜日
入 館 料 無 料
展示資料 『土地と自由のために 杉山元治郎伝』
『農地経営實地應用五用論』
『農村教化の研究』ほか



杉山元治郎（1885-1964）

大阪府日根郡下瓦屋村（現泉佐野市下瓦屋）出身

【小高での主な動き】

- 1910(明治 43) 24 歳 小高教会牧師として赴任
- 1913(大正 2) 27 歳 独立し、自給伝道に入る。
- 1914(大正 3) 28 歳 私立小高農民高等学校開設
農村指導者を育て、地域に
貢献した。
- 1916(大正 5) 30 歳 杉山式互用犁を実費頒布
『農家経営の実際』を出版
- 1917(大正 6) 32 歳 教会堂が新築落成する。
- 1918(大正 7) 34 歳 小高教会を辞める。
大阪に転住する。

杉山元治郎略年譜

年	年齢	できごと
1885（明治 18）	0	11 月 大阪府日根郡下瓦屋村に、父政七・母くまの間に誕生
1900（明治 33）	14	大阪府立農学校農科（現大阪府立大学農学部）に給費生として入学
1902（明治 35）	16	日本基督協会大阪南教会で受洗する。
1903（明治 36）	17	大阪府立農学校卒業。和歌山県農会技手兼書記となる。
1906（明治 39）	20	東北学院神学部別科へ入学
1909（明治 42）	23	東北学院卒業。仙台市東六番丁教会牧師となる。
1910（明治 43）	24	7 月 小高教会の牧師として赴任 9 月 仙台の中村ことと結婚する。翌年、小高へ移住。
1913（大正 2）	27	伝道局を辞め、独立。自給伝道に入る（田畑一町二反を借り農業従事）。
1914（大正 3）	28	自宅に、私立小高農民高等学校を開設。生徒数 10 人。
1915（大正 4）	29	『農村経営の理想』（洛陽堂刊）を出版
1916（大正 5）	31	杉山式互用犁を実費頒布する。
1917（大正 6）	32	小高教会堂が新築落成する。
1920（大正 9）	34	小高教会を辞め、大阪市弘済会育児部主任兼舎監となる。
1922（大正 11）	36	日本農民組合初代組合長となる。
1924（大正 13）	39	12 月 歯科医師免許証が交付される。
1926（大正 15）	40	3 月 労働農民党中央執行委員長となる。
1927（昭和 2）	41	3 月 全日本農民組合組合長となる。
1928（昭和 3）	42	5 月 全国農民組合中央執行委員長となる。
1930（昭和 5）	44	3 月 杉山歯科診療所を開業
1932（昭和 7）	46	2 月 衆議院選挙に立候補し、当選する。（全国労農大衆党）
1948（昭和 23）	62	5 月 公職追放
1951（昭和 26）	65	10 月 衆議院選挙に立候補し、当選する。（社会党右派）
1955（昭和 30）	69	3 月 衆議院副議長に就任
1963（昭和 38）	78	11 月 衆議院選挙に立候補し、落選。政界を引退する。
1964（昭和 39）	78	10 月 脳出血のため逝去

※（『土地と自由のために 杉山元治郎伝』（杉山元治郎伝刊行会刊）、『おだかの人物』（南相馬市刊）を基に埴谷・島尾記念文学資料館が作成しました。）

～これからの企画展～

令和 7 年度は、つぎの企画展を予定しています。

○生誕 120 周年 天野秀延展（仮称）

○生誕 90 周年 若松丈太郎展（仮称）